

## 令和4年度文京区教育委員会 主要施策

教育委員会は、「教育ビジョン～個が輝き共に生きる文京の教育～」の実現を目指し、教育目標に基づいた教育施策を推進するため、教育指針に則って次のとおり主要施策を定め、総合的に教育施策を推進する。

なお、主要施策に定めた施策の取組状況について、翌年度、教育委員会事務局で点検・評価を行う。

### 1 学校教育等

#### 【視点1 持続可能な社会を見据えた新しい未来の創り手の育成】

##### ① 新しい未来に向けた教育活動の推進

- ・児童・生徒に1人1台ずつ配備されたタブレット端末やICTの活用を通し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を図る。また、Society5.0時代の到来を見据えた、従来の指導方法にとらわれない新しい授業スタイルを創造する。

#### 【視点2 学校教育における知・徳・体のバランスのとれた力の育成】

##### ① 確かな学力の定着

- ・教育センターの専門指導員による科学教室や地域大学との連携による「子ども科学カレッジ」等を開催するほか、学校訪問による出前授業を実施することにより、子どもたちがより専門的な学びを体験しながら科学の面白さに触れる機会の充実を図る。

##### ② 豊かな人間性の育成

- ・全区立小・中学校に配置されているALTとのチーム・ティーチングや英語体験学習施設(TGG)での模擬体験を通して、国際理解を深めるとともに、コミュニケーション能力の向上を図る。また、小学校ではGTEC Junior、中学校では実用英語技能検定(英検)等で4技能の定着の効果検証を行い、授業の工夫・改善に生かす。

##### ③ 健康・体力の増進

- ・大学等との連携による体力向上アドバイザーの小学校への派遣や、児童の体力状況や運動習慣等を踏まえ作成した「体力向上推進プラン」、及び幼児が体の動かし方を楽しく体験する取組により幼児・児童の健康・体力の維持増進を図る。

④ 保・幼・小・中の連携・接続

- ・9つのブロックを中心に、幼児・児童・生徒が行事等で交流する。また、異校種の研究発表への参加を通して、異校種への理解を深めるとともに、学校施設の利用における連携も推進する。

⑤ 特別支援教育

- ・改訂版「『学びの教室』ハンドブック」及び「『アドバンスルーム』ハンドブック」に基づいた特別支援教室の運営の充実・発展を図る。また、教職員の研修等を充実させ、指導力向上を図るとともに、個別の指導計画を通した保護者との連携を促進させ、特別支援教室での指導の効果を高める。

**【視点3 地域ぐるみで子どもの教育に取り組むための連携・協働】**

① 家庭・地域と連携した学校・園づくり

- ・地域学校協働本部の仕組みを活用し、多様な取組を、より継続的でより多くの地域住民等の参画が可能な連携・協働を進め、教育活動の充実や教員の負担軽減につなげる。

② 家庭教育への支援

- ・園庭開放を行うとともに子育て情報等を地域に発信することにより、区立幼稚園を地域の幼児教育の拠点とし、親と子の育ちの支援を図る。

**【視点4 子どもの学びを保障する教育環境】**

① 教員の資質・能力向上、教育に専念できる工夫

- ・GIGAスクール構想の実現を目指すとともに、「主体的・対話的で深い学び」に視点を置いた授業改善を進めるため、経験年数・職層等に応じた研修を充実させ、教員の資質・能力の向上を図る。また、区立幼稚園、小学校、中学校の研究会の研究の成果、及び区研究協力校による研究の成果を区内で共有し、教員の資質・能力向上に役立てる。

② 安全・安心な学校生活のための危機管理体制

- ・学校・園の判断で緊急情報等をメール、音声、LINEで配信できるシステムを使い、保護者が自身に都合の良い方法で受信することで、迅速かつ正確な情報伝達の体制を整える。

**③ 子どもたちの課題に対する専門的アプローチ**

- ・スクールソーシャルワーカーの配置校を増やし、教員やスクールカウンセラー等専門職と連携を強化することで、より丁寧な相談対応を行うとともに、関係機関や民間団体等とも連携しながら児童・生徒の状況に応じた支援を充実することで、不登校の予防及び早期対応を図る。

**④ 学校運営に適した学校規模**

- ・児童数の増加に応じた普通教室の増設を適切に行い、子どもたちが快適な学校生活を送ることができる教育環境を整える。

**⑤ 学校施設等の整備**

- ・老朽化した校舎の改築を行うことで、多様な学習活動に対応した指導を可能とするとともに、安全な学校生活を送ることができるよう施設面の整備を図る。

**2 文化財行政**

- ・東京文化財ウィークにおいて、指定文化財の公開活用を行う。区内の文化財所有者の協力を得て、公開件数の増加を図る。埋蔵文化財調査の成果は、遺跡見学会、文化財講演会、子ども考古学教室等の事業を通じて区民に還元していく。これにより、文化財保護への理解や意識の醸成、地域の歴史や文化財に対する愛着を育んでいく。

**3 図書館**

- ・「文京区立図書館改修等に伴う機能向上検討委員会報告書」において、小石川図書館の改築について、求められる機能や隣接する竹早公園との一体的整備の方向性が示されたことを受け、一体的整備による都市計画公園としての有益性、周辺環境や利用者の動向、区の財政状況等を踏まえながら、基本計画を策定する。

(令和4年1月21日 文京区教育委員会教育長決定)

